

図書館だより

NO. 136 2009年 6月号
(2009年6月1日発行)

はつかいち市民図書館
電話(0829)20-0333
廿日市市下平良 1-11-1

ホームページ <http://www.hiroshima-hatsukaichi-lib.jp/>

最近読んだ本 オススメの本をおしえて！

🌀 今月から、ヤングアダルトコーナーに「BOOK紹介用紙」を置きます。
すてきな投稿（文章・イラストなど）をまっています。
投稿が集まったら、ヤングアダルトコーナーに掲示していく予定です！



縦書き、横書きは問い
ません。オススメ本を
自由にね!!
PRしてね!!
他の人が書（描）いた
のを写したものはいた
メですよ。



いただいた作品は、原則お返しできません。また、すべての作品を掲載することはできません。
作品を館内で展示したり、その他図書館活動関係の紹介・PRのために活用させていただくことがあります。

<今月の展示>

<さくらびあ展示>『映画の原作本』

6月6日（土）にさくらびあで上映される「おくりびと」にちなんで、映画の原作本を展示します。

<中央展示>『ブックスタート!』

廿日市地域では、4月から、ブックスタート事業をはじめました。ブックスタートとは、4ヵ月乳児健診を受診した乳児と保護者に向けて、地域の子育て情報と絵本がはいった、“ブックスタートパック”を「地域で子育て応援しています」というメッセージとともに実際に絵本を開く時間の楽しさを体験してもらいながら手渡していきます。今月は、乳児におすすめの絵本や、子育て支援関連の本を展示します。

<児童展示>『雨の季節』

雨の季節はいつもとちょっと何かが違う。雨に濡れた草木・アスファルトの匂い、カエルの大合唱、しめった空気……。そんな違いを絵本の世界からも感じてみませんか。

<テーマ展示>『ボンジュール!』

廿日市市とフランス「モン・サン＝ミッシェル」が、5月16日観光友好都市提携を結びました。昨年、日仏交流150周年記念に両国が作成したキャンペーンポスターに、宮島の大鳥居と美しい海に浮かぶ小島「モン・サン＝ミッシェル」が掲載されたのが縁となりました。今回は、フランスをキーワードに本を展示します。

5月の読書会で読んだ本

一般書

『さぶ』

山本周五郎／著 BF／ヤ 新潮文庫
1990年

この小説は「さぶ」と「栄二」という異なった性格を持つ二人の男の物語である。無実の罪を着せられ、人足寄場に送られるという試練に遭遇した栄二は、その中で受けた周囲の者たちからの親切や好意、とりわけ親友さぶが自分の身も顧みず奔走してくれる姿にふれ憤りで頑なになっていた心が次第に和らぎ変えられていく。中でも愚鈍であることを恥じ、自らを卑下していたさぶが栄二の重荷を自分のものとして負い、生涯彼の引き立て役を貫くことを決意していく姿は、友情を越えた人間の真実というものの尊さを教えてくれ、人のどんな過ちをも包み込んでしまうほどのあたたかさを読む者に伝えてくれるようである。

読書会会員／河野玲子

～読書会日時～

毎月第3水曜日(10:00～12:00)です。

会費・場所等は、はつかいち市民図書館
へお問い合わせください。

6/17(水)読書会の課題図書は

「オモニ太平記」 小田実/著

郷土資料紹介

『厳島平成絵馬鑑』

原田佳子／著 H387／ハ
厳島平成絵馬鑑刊行会 2003年

長い歴史を持つ厳島神社には、数多くの絵馬があります。

年記の分かる最古の絵馬は室町時代で、以降、江戸時代を中心に数多くの絵馬が、人びとの祈りとともに奉納されてきました。大部分の絵馬が、社殿廻廊に掲げられていましたが、明治から大正時代にかけて、千畳閣や宝物館に移されました。

その中でも、指定文化財や珍しい図柄の絵馬百点を、本書で紹介しています。日本画の巨匠、横山大観が、明治31年10月、日本美術院の第1回展に出品した作品が絵馬として厳島神社に奉納されています。また、旧地御前村出身の洋画家、小林千古が描いた作品も絵馬として、奉納されています。絵馬に焦点をあてた郷土資料は大変めずらしく、厳島神社が所蔵している素晴らしい芸術作品に思いをはせることができる本です。

廿日市市に關係する資料は、一番奥の「N」の棚にあります。ラベルに「H」という記号がついています。

<今月の新着(一般書)>

図書館には1カ月に約600冊の新刊が入ります。その一部を紹介します。

- 『小さな幸せに気づく24の物語』 中山和義/著 フォレスト出版 159/ナ
- 『童門冬二の歴史に学ぶ知恵』 童門冬二/著 茨木新聞社 281.0/ト
- 『すぐに役立つ366日記念日事典』 加瀬清志/著 創元社 386.9/カ
- 『単純な脳、複雑な「私」』 池谷裕二/著 朝日出版社 491.3/イ
- 『キレイをつくる睡眠の基本と習慣356』 文化出版局/編 文化出版局 498.3/キ
- 『ホームベーカリーでつくるパンの感動レシピ』 浜田美里/著 成美堂出版 596.6/ハ
- 『珈琲のすべてがわかる事典』 堀口俊英/監修 ナツメ社 596.7/コ
- 『時刻表1000号物語』 交通情報部/編 JTBパブリッシング 686.5/シ
- 『台北国立故宮博物院を極める』 板倉聖哲 伊藤郁太郎/著 新潮社 706.9/イ
- 『あなたも翻訳家になれる!』 枝廣淳子/著 ダイヤモンド社 801.7/エ
- 『ちひろと一茶』 松本猛・ちひろ美術館/編著 信濃毎日新聞社 911.3/コ
- 『ムサシ』 井上ひさし/著 集英社 912.6/イ
- 『ZOKURANGER』 森博嗣/著 光文社 F/モ
- 『足みじかおじさんの旅』 やなせたかし/著 新日本出版社 F/ヤ

新刊

こどものほん

『ドレミーわたしのバイオリンー』

スージー・モーゲンスタン 文 マリー・ドゥ・サール 絵
高田万由子 訳 講談社 E/ト

初めて行ったコンサートで、バイオリンの音に魅せられた私。弾いてみたい。でも、習ってみると、ギーギーひどい音！何度同じ音を弾いてもうまくいなくてくたくた。もうやだ！やめちゃいたい。投げ出したい気持ちから、バイオリンがだんだん好きになっていく女の子の心情を丁寧に描いた絵本。

『前進力ー15歳の寺子屋ー』

三國清三 講談社 289/ミ

北海道増毛生まれの著者は、中学卒業後札幌へ。米屋の小僧として働き、ここで食べたハンバーグが、フランス料理への道を進むキッカケになりました。自分の境遇に納得できず「神様は不公平だ」と思ったことも。実力第一主義の料理の世界で活躍するシェフが、15歳の若者に大切な言葉を贈ります。

『戦争を平和にかえる法ー”紛争解決入門”の巻ー』

ぶん ルイズ・アームストロング え ビル・バッソ
やく・かいせつ 筑紫哲也 河出書房新社 319/ア

勝気なスージーが、ジョニーのとなりで砂の城作りを始めたことから、イザコザが持ち上がった。その様子を戦争にたとえて、時事用語、専門用語を使って戦争を説明した本。論争から紛争へと発展し、平和がおとずれるまでが易しく書かれている。

『っぼい』

ぶん・え ピーター・レイノルズ やく なかがわちひろ
主婦の友社 E/ル

絵を描くのが大好きなラモンは、お兄ちゃんから似てないといわれ、描くのがいやになった。ところが、ラモンが描いたかびんの絵を、妹が「かびんっぽくていい」と飾っていて…。妹のその言葉を聞いたラモンは、「っぼい」絵を楽しんで描き始める。自分の内からあふれる気持ちの大切さが伝わってくる。

『しごとば』

鈴木のりたけ ブロンズ出版 366/ス

歯医者や美容院など、たくさんの道具に囲まれている職場をイラストで大公開。歯医者の基本6点セットから美容院の戸棚の内側まで、見ることはあっても名前は？という道具が出てきます。また、多くの人を安全に運ぶ新幹線運転手の仕事の流れも詳しく紹介されています。

『リーコとオスカーととっても深い影』

アンドレアス・シュタインハーフェル 作 森川弘子 訳
岩波書店 943/ワ

ママが深い才能に恵まれたと呼ぶリーコは、特別支援学校に通っている。ある日、友だちのオスカーが誘拐された。考えるのに少し長い時間がかかるリーコは、彼を助けようと、ゴチャゴチャになる頭を整理しながら解決していく。著者は全作品に対してエーリヒ・ケストナー文学賞を受賞。

ミニブックトーク

雨の季節になりました！

6月は梅雨の季節、そこで、今月は雨から水…そして、川へと連想して本を紹介しましょう。

『ひとしずくの水』の写真は圧巻です。水の上に虫ピンが浮いているように見えるのは、表面張力。雨の後窓ガラスにしずくがくっついているのは付着力が働くからと、水のミクロの世界へと私たちを誘ってくれます。また、雲のできかたや雪、露や霜など、ひとしずくの水からいろいろなことが見えてきます。

さて、水の上をスイスイ、スケーターのようなアメンボは、肉食性のカメムシの仲間だと知っていましたか？なぜおぼれなくて進むことができるのかとか、何を食べるのかなど『アメンボ観察事典』を読むとそんな疑問も解決。飼い方も掲載されていて、アメンボがより身近な水生昆虫として感じられます。

次は、物語です。スズナ山には「枯れ沼」と呼ばれる水のない沼があります。三百歳のスズナ姫は、父親からやっと一人前の山神（山を治める神）と認められてスズナ山を任せられます。そこで、この沼に水を呼び戻す仕事にとりかかるとにしました。このお話は、スズナ姫が活躍するシリーズの2巻目です。

生まれて初めて川を見たモグラは、ネズミとの川遊びが楽しくてたまりません。そこへ、好奇心旺盛なヒキガエルが登場。次から次へと騒ぎを起こしますが…。のどかな田園風景の中でくりひろげられる小さな動物たちの物語『たのしい川べ』は、イギリスの動物ファンタジーの先駆的作品です。

『ひとしずくの水』ウォルター・ウィック 林田康一訳 あすなろ書房 435/ワ

『アメンボ観察事典』構成 小田英智 文・写真 中谷憲一 偕成社 486/ナ

『スズナ沼の大ナマズ』富安陽子作 飯野和好絵 偕成社 913/ト

『たのしい川べ』ケネス・グレアム作 石井桃子訳 岩波書店 933/ワ

6月の中央展示『あなたの子育て応援します！』

廿日市市では、現在4ヵ月健診時にブックスタート事業を実施しています。ブックスタートは、すべての赤ちゃんのまわりで楽しくあたたかいひとときが持たれることを願い、一人ひとりの赤ちゃんに、絵本を開く楽しい体験といっしょに、地域で子育てを応援していますというメッセージを込めて絵本を手渡す活動です。

はつかいち市民図書館では、昨年度ブックスタートボランティア講座を実施し、ボランティアを募集したところ、40名のボランティア登録がありました。今年の4月から、ブックスタートボランティアの皆さんと一緒にブックスタート事業を実施しています。

今月の中央展示では、ブックスタート事業にちなんで、0歳～3歳の赤ちゃんにお勧めの絵本250冊を展示するとともに、0～3歳の子育てに関係する図書を展示しています。

ブックスタートボランティアを募集中です。

子育てしやすい街づくりにあなたも参加してみませんか？



廿日市地域ブックスタートの様子

ブックスタートボランティア募集中

詳しくはカウンターまでお問い合わせください。

6月の図書館カレンダー

◎ちいさいこのためのおはなし会

【対象】乳幼児

【時間】1回目 11時～

2回目 11時30分～

※整理券を相談窓口で配布します

☆おはなし会

【対象】幼児～小学校低学年

【時間】11時～

場所はいずれも図書館会議室です

日	月	火	水	木	金	土
	1 休	2 休	3	4	5 ◎	6
7	8 休	9	10	11	12	13 ★
14	15 休	16	17	18	19 ◎	20
21	22 休	23	24	25	26	27 ★
28	29 休	30				

雨の降る日は、本が濡れないように袋にいれて持ち運んでください。ご協力をお願いします。